



ペットフードを選択する

小型犬用ドッグフードを選ぶ理由

どの犬にも固有の栄養要件があり、食餌によってそのニーズを満たす必要があります。超小型犬（成犬で 5 kg [11 ポンド] 以下）または小型犬（10 kg [22 ポンド] 以下）の場合、小型犬用に特別に調製されたドッグフードを検討すべきです。小型犬用の食餌については、いくつか考慮すべきことがあります。



小型犬には、カロリー密度の高いフードが必要です。

超小型犬や小型犬は代謝速度が早く（胃が小さい）傾向があるため、高品質でカロリーと栄養密度が高いフードが必要になります。小型犬用のドッグフードは、通常の成犬用フードに比べて、タンパク質、脂質、カロリー、その他の栄養素を多く含み、小型犬に必要なすべての影響を提供できるように調製されています。

体重増加の防止には、給餌量を計量することが有効です。

小型犬は、大型犬よりも 1 kg（ポンド）あたりのカロリー必要量が多いため、体重をチェックすることが重要です。肥満は、小型犬を含め、あらゆる大きさの犬に共通する問題ですが、一部の小型犬や超小型犬は体重が増えやすい傾向があります。大型犬に比べて、小型犬は体重が軽いため、0.5 kg（およそ 1 ポンド）体重が増えただけでも、関節へのストレス、呼吸問題の悪化など、重篤な健康問題につながるおそれがあります。

フードやおやつの量・重さを注意深く計量し、ペットの体型を定期的にチェックすることで、ペットの食べ過ぎを防止できます。すべての犬は個体によって固有のカロリー必要量が異なります。そのため、犬の理想体重を維持するには、給餌量を調整することが重要です。

(次のページに続く)

小粒のフードは咀嚼しやすい場合があります。

超小型犬や小型犬は顎や歯が小さいため、大粒のフードは咀嚼するのが難しい場合があります。小型犬には、小粒のフードの方が咀嚼しやすい場合があります。

小型犬には、皮膚と被毛をサポートするドッグフードを見つけましょう。

小型犬の中には、ビタミン A、必須脂肪酸、高品質タンパク質など、皮膚に栄養を与える栄養素が追加で含まれていることが有益になる犬もいます。このような栄養素は、健康な皮膚とつやのある被毛の促進を助けます。

小型犬固有の栄養要件をすべて満たすドッグフードを見つけることは、ペットが健康で長生きできるようにサポートする第一歩です。小型犬の栄養に関して不明な点や心配ごとがある場合は、必ずかかりつけの獣医にご相談ください。

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。